## ニチモウの 事業を通じた 価値創造

### **SDGs**

#### =持続可能な開発目標

2015年9月国連総会で採択された貧困 や飢餓、不平等の解消といった2030年を ゴールとする世界規模の17項目からなる大 きな開発目標と169のターゲットから構成。

## SUSTAINABLE GOALS 2 \*\*\* 3 \*\*\*\*\*\* 4 \*\*\*\*\*\* 5 \*\*\*\*\*\* 5





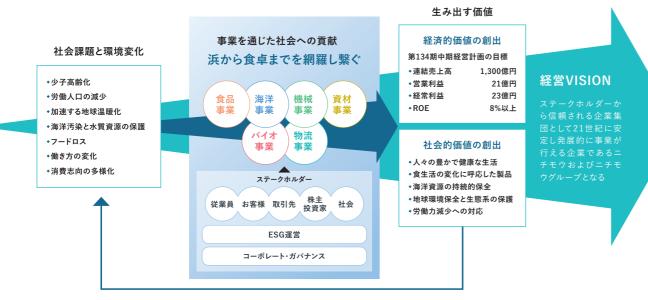










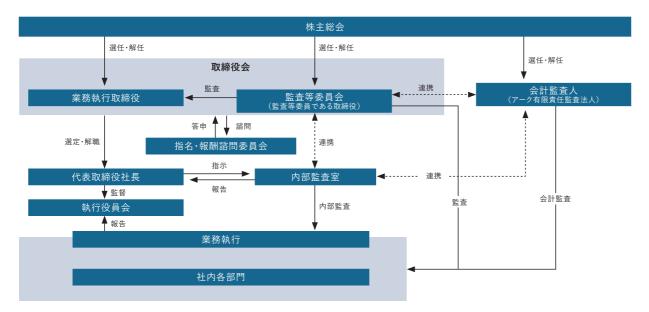


## コーポレート・ガバナンス

当社は、変動する経済環境に対応した迅速な経営意思の決定と、経営の健全性をはかることによって株主価値を高めることを重要な課題と考えており、これを実現するために、株主のみなさまをはじめ、取引先、地域社会、従

業員といったステークホルダーとの良好な関係を構築するとともに、取締役会、執行役員会などの各機能を強化・改善しながらコーポレート・ガバナンスの充実をはかっております。

#### ■コーポレート・ガバナンス体制



# **ジニチモウ株式会社**

## サステナビリティレポート

Sustainability Report



「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」企業集団として 安心・安全で環境に配慮した製品を提供し、 「豊かで健康な生活づくり」に貢献してまいります。

昨今、気候変動への懸念、天然資源の持続性、自然災害の拡大、労働環境・生活スタイルの変化、ガバナンス強化など、われわれを取り巻く社会課題はより多様化し、企業には課題解決力、社会的責任がより強く求められています。

また2015年に国連で採択されたSDGs「持続可能な開発目標」を受け、社会的責任を求められる企業の一員として課題解決へ取り組んでいます。

多くの社会課題が当社の事業領域とは切り離せないものであり、それらの解決を事業戦略に組み込むことで、ステークホルダーのみなさまに価値を提供することを目指しています。

たとえば食品事業では「海洋環境に配慮した、持続的で安全な食の提供」、海洋事業では「環境負荷を軽減する製品の導入とリサイクルチェーンの実現」など海の豊かな資源の保全に貢献する事業展開を進めています。

また、機械事業では「誰もが働きやすく、安全で効率的な生産・管理体制の実現」、資材事業では「衛生的な生活環境の構築」など、これからの時代に適合した持続可能な産業化と生活環境の維持に貢献してまいります。

そして、これらの事業継続が社会全体 の発展につながると信じています。

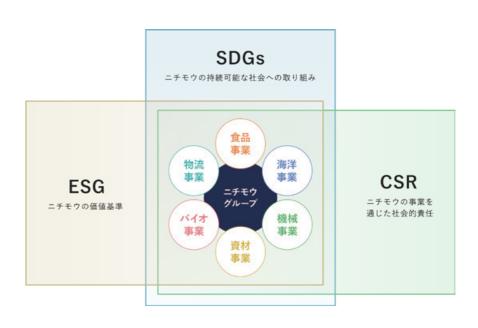
創業以来の経営理念である「会社は

社会の公器であるとの精神に立ち、業界をリードする技術とサービスをもって広く社会の発展に貢献する」ことにより100余年の歴史の中で醸成された経験とノウハウは、新規事業への積極的な挑戦や課題解決の糸口となり、それらを組合せることで、次の100年もみなさまの「豊かで健康な生活づくり」に貢献する企業であり続けると確信しています。

当社グループはこれからも持続的な企業価値を創造し 「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」企業集団として、持続可 能な社会の実現に取り組んでまいります。

代表取締役社長

松本 和明



# ニチモウのCSR活動

ニチモウでは、SDGsやESG投資の視点を踏まえて、これまで以 上にCSR活動に力を入れ、ニチモウが目指すサステナブルな社会 貢献に向けて取り組んでいきます。







海洋

事業

事業

水産資源と生態系の保全・トレーサビリティの確立

海洋環境に配慮した、持続的で安全な食の提供

マリン・エコラベル・ジャパン (MEL) は、将来の世代にわたって最 適利用ができるよう資源と生態系の保全に積極的に取り組んでいる漁 業や養殖業を認証し、MELロゴマークを貼付して流通させるものです。 また、使命として、「日本の水産業の新たな発展とSDGs達成に貢献す る『海の豊かさを守る』ことに資する」を掲げています。

世界水産物持続可能性イニシアチブ(GSSI)から承認されたMEL は、事実上の国際規格として、世界の大手小売業等の調達基準として 採用されており、国際的な評価の向上や一層の輸出促進に寄与するこ とが期待されています。

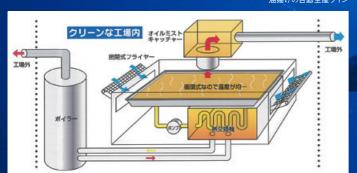
ニチモウグループでは、長年取り組んでいる宮城県産養殖銀鮭にお いて、㈱ニチモウマリカルチャーが生産段階で2020年4月に認証取得 したのを皮切りに、2021年5月にニチモウも流通加工段階において取

水産資源と生態系の保全・トレーサビリティの確立は、持続的な社 会の実現に欠かせない要素として世界共通で重要視されています。水 産業を事業基盤とする一員として、未来につながる業界をリードした サービスを引き続き提供していけるよう努めてまいります。





協場げの自動生産ライン



熱交換式フライヤ-

誰もが働きやすく、安全で効率的な 生産・管理体制の実現



お客様の要望に合わせた 最適な食品製造機械・ラインを供給

食品メーカーは、工場や製品ごとに様々な生産ラインを構築してい ます。ニチモウはお客様のニーズに合わせた最適な食品製造機械・ ラインをご提案します。

例えば、豆腐を揚げて作る油揚げの自動生産ラインでは、原料処 理から包装までを自動化することで、安全で効率的な生産ラインを 実現しています。豆腐を揚げるフライヤーは、熱交換式を採用し、従 来からある直火式と比較して40%以上も熱効率に優れ、ランニング コスト削減・省エネルギー化およびCO₂排出量削減を実現します。ま た、循環加熱式のためフライヤー槽内の油温を均一にすることがで き、高い品質の油揚げを安定して生産することができます。さらに、 負担の大きいフライヤーへの投入も自動化したことにより、作業効率 と安全性を向上させました。

このように、お客様の要望に合わせた食品製造機械・ラインを供 給することで、コスト削減や生産効率の向上のみならず、労働人口の 減少・高齢化にも対応し、誰もが働きやすく安心・安全な労働環境の 実現に貢献してまいります。









## 環境負荷を軽減する製品の導入とリサイクルチェーンの実現

生分解性プラスチックを用いた海洋資材の開発・ 廃棄漁網のリサイクル

生分解性プラスチックを用いた海洋資材(漁網・ロープの漁具材 料、イカ針、タコ壺等)の開発、そして廃棄漁網のリサイクルに取り組 んでいます。

海洋環境における分解性を有する生分解性プラスチックを用いた 海洋資材であれば、損傷あるいは荒天によって海に流出した際にも、 近年問題視されているマイクロプラスチックとして海に残留することな く、分解され自然に還りますので、環境への負担を軽減できます。

また、不要になった漁網(廃棄漁網)を回収して、漁網などの製品 に再利用するリサイクルに取り組んでいます。将来的には、海洋資材 (漁網・ロープ等) のリサイクルチェーンを完成させることを目指して

これらの取り組みにより、海洋ゴミや二酸化炭素排出などの環境へ の負担を軽減し、水産業界をリードする企業として、海洋環境問題の 解決に取り組んでまいります。

水産庁「令和2年度農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業」

・ 水産庁「平成30年度・令和元年度漁業における海洋プラスチック問題対策事業」 一部として実施しているものです。

資材

事業



生分解性プラスチックを用いた漁網漁具製品



衛生的な生活環境の構築

廃棄漁網のリサイクルチェーン







## 衛生資材と抗菌・抗ウイルスフィルムの提供

私たちの生活には、スマホ画面保護シートや防汚クロスなど、さま ざまな機能性フィルムや、消臭剤などの化成品が浸透し、快適な住環 境が構築されています。

特に今日のコロナ禍においては、アルコール製剤や抗菌・抗ウイルス フィルムが安全に生活する上で欠かせないものとなりました。病院・介 護施設・食品工場・レストランなどに幅広く採用されております。

ニチモウでは、タケックスクリーンなどの人にやさしい食品添加物ア ルコール製剤や、抗菌製品技術協議会から認証を受けSIAAマークを 取得した抗菌フィルムを提供し、安心してサービス提供や生活のでき る環境の構築に貢献してまいります。



## 社会貢献活動

ニチモウの抗菌・抗ウイルス











#### 「スクラム・ジャパン・プログラム |を応援しています

「スクラム・ジャパン・プログラム」はラグビーを通じて、青少年の心身を育み、 将来、各界で活躍する人材の輩出につなげることを目指す活動です。